

@_void_void_0



警官くん大ピンチ!



数時間前

それで……
早速ですが

いえ
お気になさらず
どうぞ
おかけください

すみません こんな
夜更けに部屋まで……

車掌
アンドルー・クレス

あなたは私に
ついての情報が
知りたい
のでしょうか？

聞き取り調査で
彼を最後に
残したのは
偶然ではなかった

物腰穏やかな
裏に隠されたその本性

僕はこのひとと
初めて出会ったとき
から感じていた

彼は……
とてつもなく大きな
秘密を隠していると

警官
ビクター・グランツ

そしてその直感は……

喜ばしいことに

間違っ
て
いなかったのだと

この人の秘密を
知るためなら

どんな使命でも
果たすという覚悟が
僕にはあった



もちろん
私が話せることなら
何でもお伝えします

ただし
こちらからの
ちよつとした頼み事を
了承して頂ける
のであれば

頼み……
ですか？

ええ



簡単な交換条件です

必ず約束は
遵守します

あなたが信用
して下さる
のならばね

グランツさん
どうですか？

じっ…

私もあなたの事を
個人的によく知りたいと
思っていたんです



……！

ドキッ

彼の言葉が真実か
どうかを疑う時間は
なかった

この機会を逃したら
彼の秘密を引き出す
ことはできない

……これは
チャンスだ

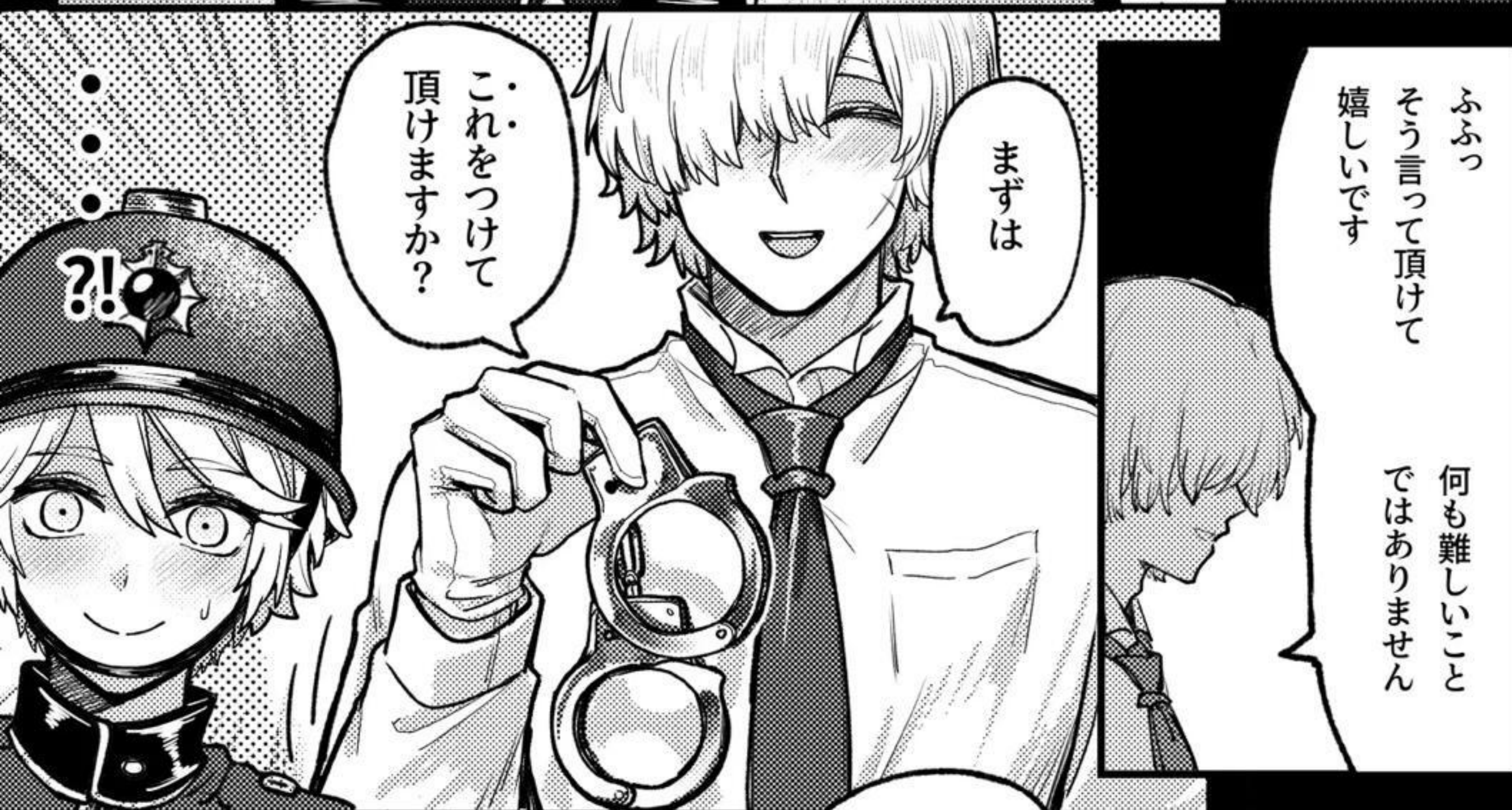


……わ……

わかりました……

僕ができることならば
どんなことでも……

引き受けます！

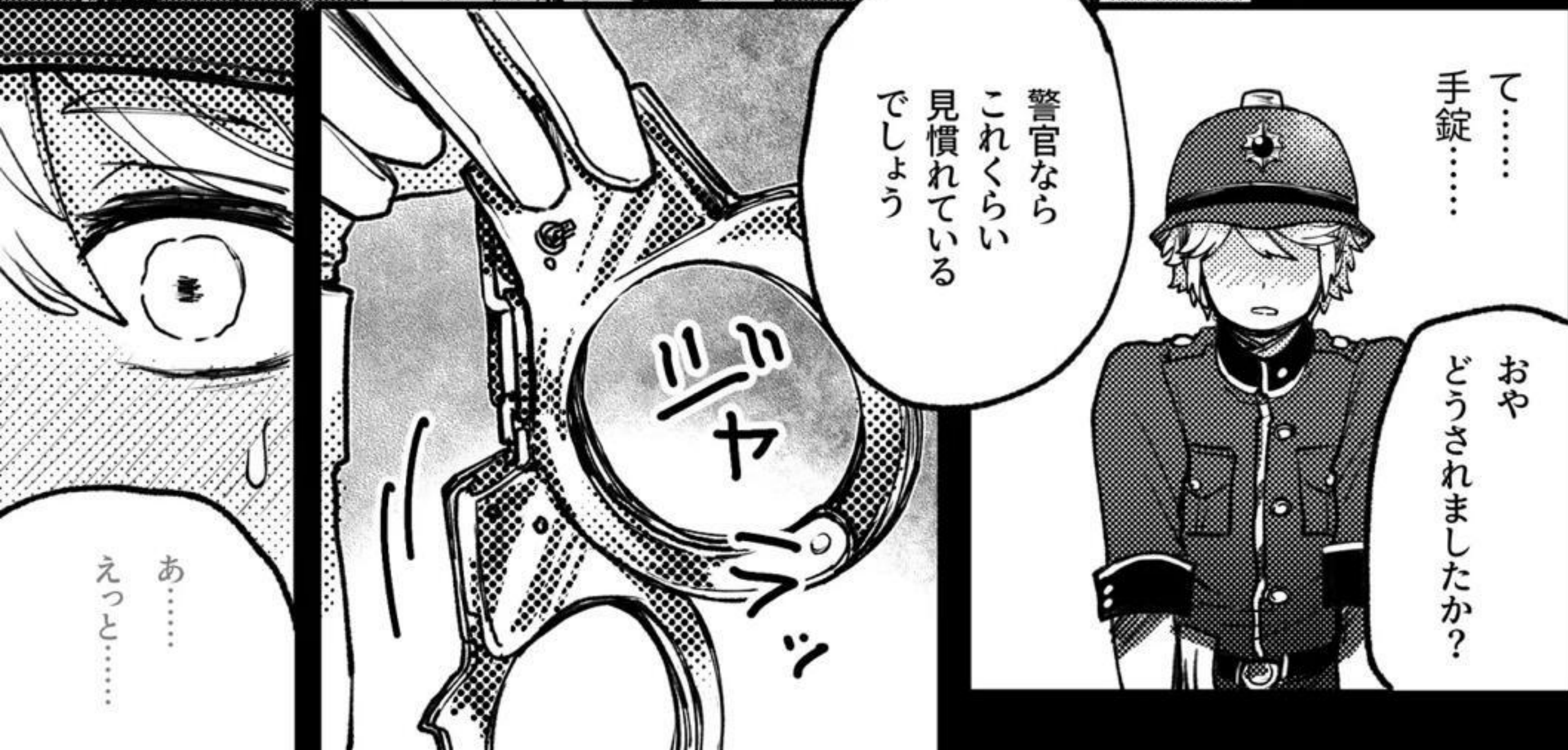


ふふっ
そう言って頂けて
嬉しいです

何も難しいこと
ではありません

まずは

これをつけて
頂けますか？



て……
手錠……

おや
どうされましたか？

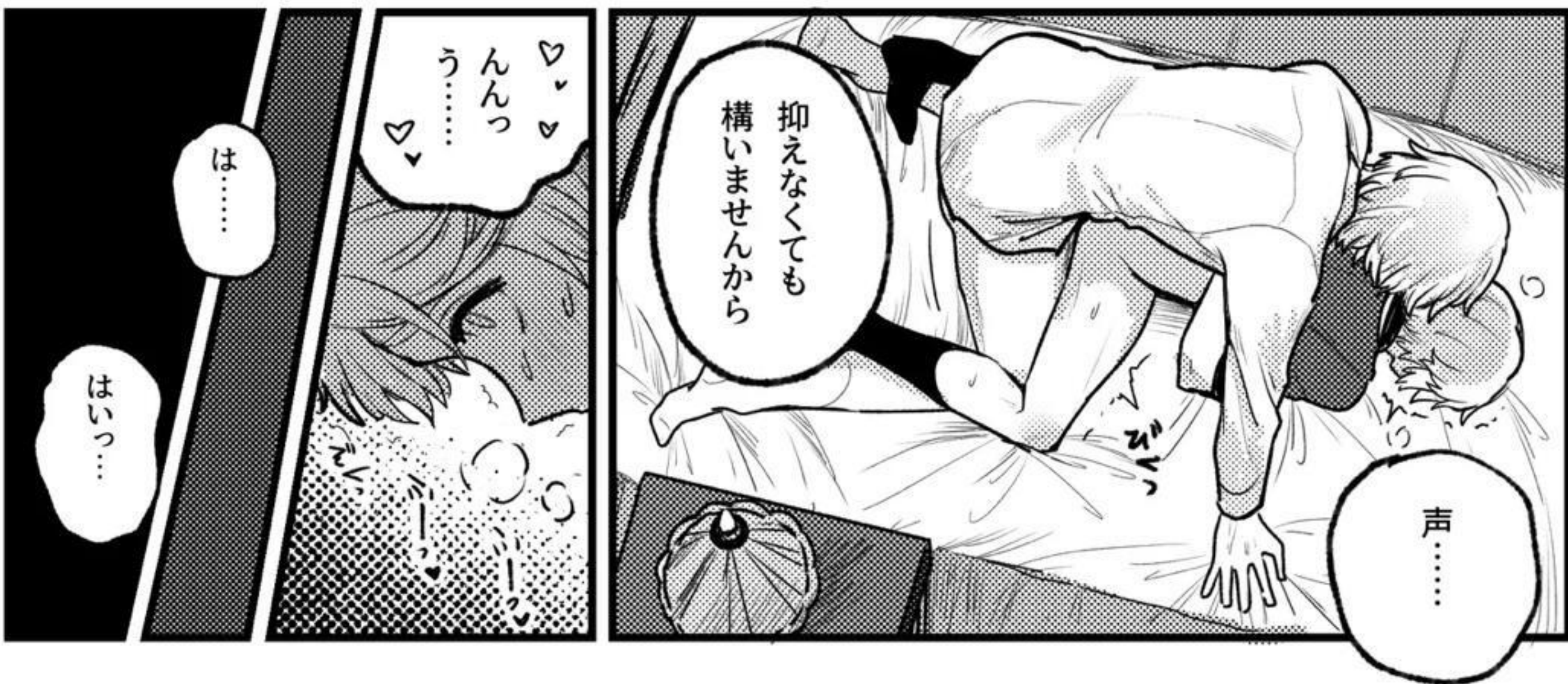
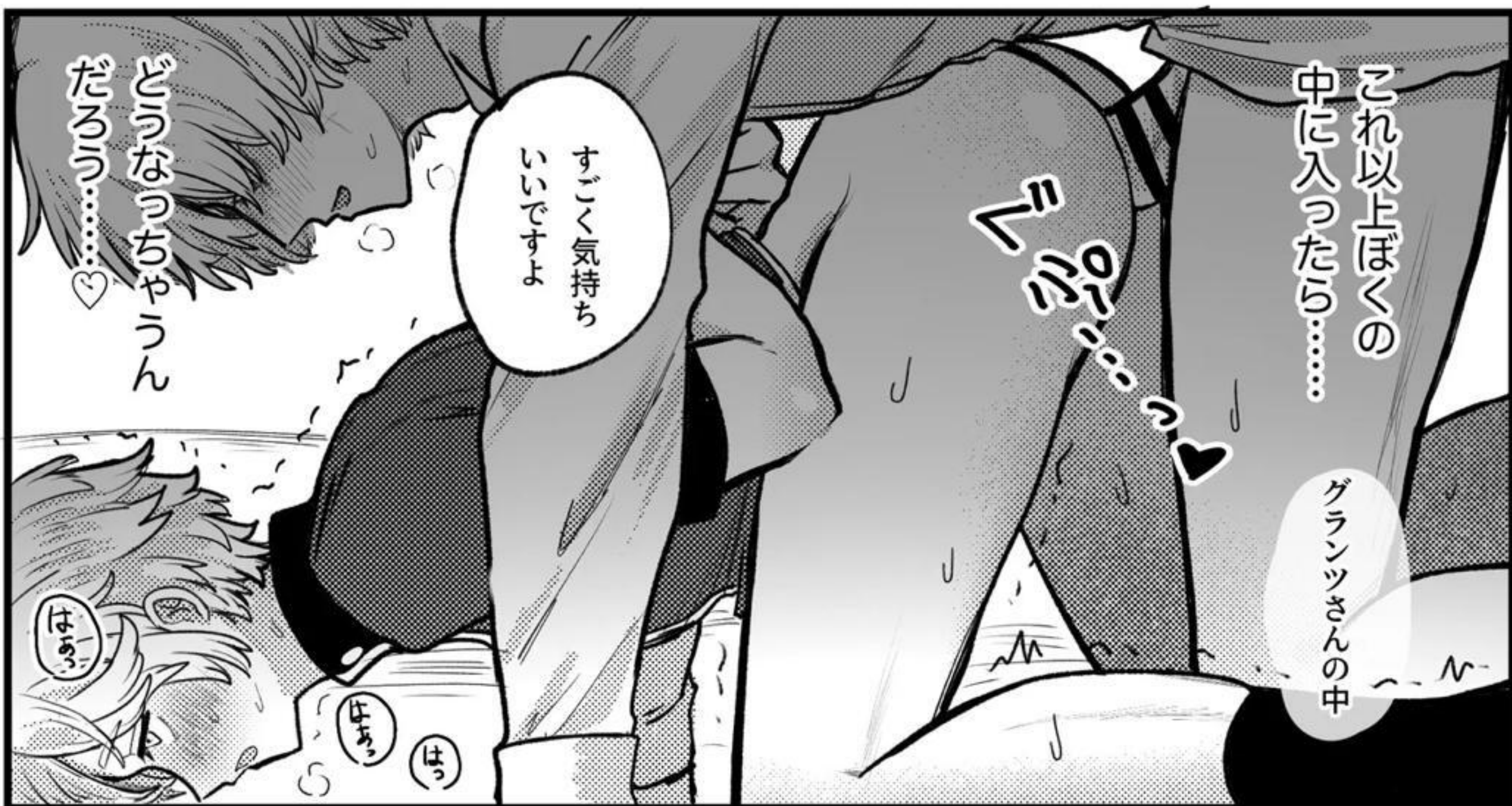
警官なら
これくらい
見慣れている
でしょう

ルカ
ヤ

あ……
えっと……







ごめんなさい
こんな形に
なってしまったて

すぢぢ

私……
好きになって
しまったんです

この列車で
あなたの姿を
一目見かけた
時から……

でも……
あなたがいつも
顔を逸らして
しまうのは

私の見た目が
恐ろしいから
ですよ？

だから……

あ……
……あつ

拘束
こうすれば嫌でも
顔を見せてくれる
でしょう？

あはっ……

その顔が
見たかった……

誠実なあなたが
快楽に身を委ねて
乱れる姿

好きです
グランツさん……

素晴らしい
眺めですね

……っ?!?!

……グランツさん

約束通り
あなたの望んでいる
情報を
お伝えしましょうか

……

疑いようもなく

今回の事件の
実行犯は

今日の前にいる
人物ですよ

数ヶ月前より
車掌としてこの
列車に潜入し
続けて

そして彼を
殺した……

ふふ……

すみません
突然で
驚いたでしょう

しかしながら
これは事実です

だって

あなたの告発で
すべてを終わらせる
ために

こうして自由を
しているのですから

……こちらこそ
すみません

あなたが本当の
車掌ではないこと

知っていました

そして これで
あなたが暗殺者だと
いう確信が持てた

でも……

この真実を
知っているのは
あなたと僕だけ

つまり……

もしこの秘密を
告発せずに秘めた
ままであれば……

これから
あなたは
「車掌」として
ここに居続け
られますよね



……え
えっ

グランツさん？

なにを……

何を
おっしゃって

言葉通りの意味です

あなたの秘密を
僕だけの
ものにしたい……

そして これからも
車掌としてここに
いてくれませんか？

そうすれば
僕たちもう少し長く
一緒にいられます



……
その言葉

あなた……
本気なんですね

ぼくはあなたの事を
恐れてはいない

むしろ……

めちやくちやに
して欲しいんです

警官失格ですか？

でも……
さっきのすごく
興奮しました♡

だから……
止めないで……

はぁ♡

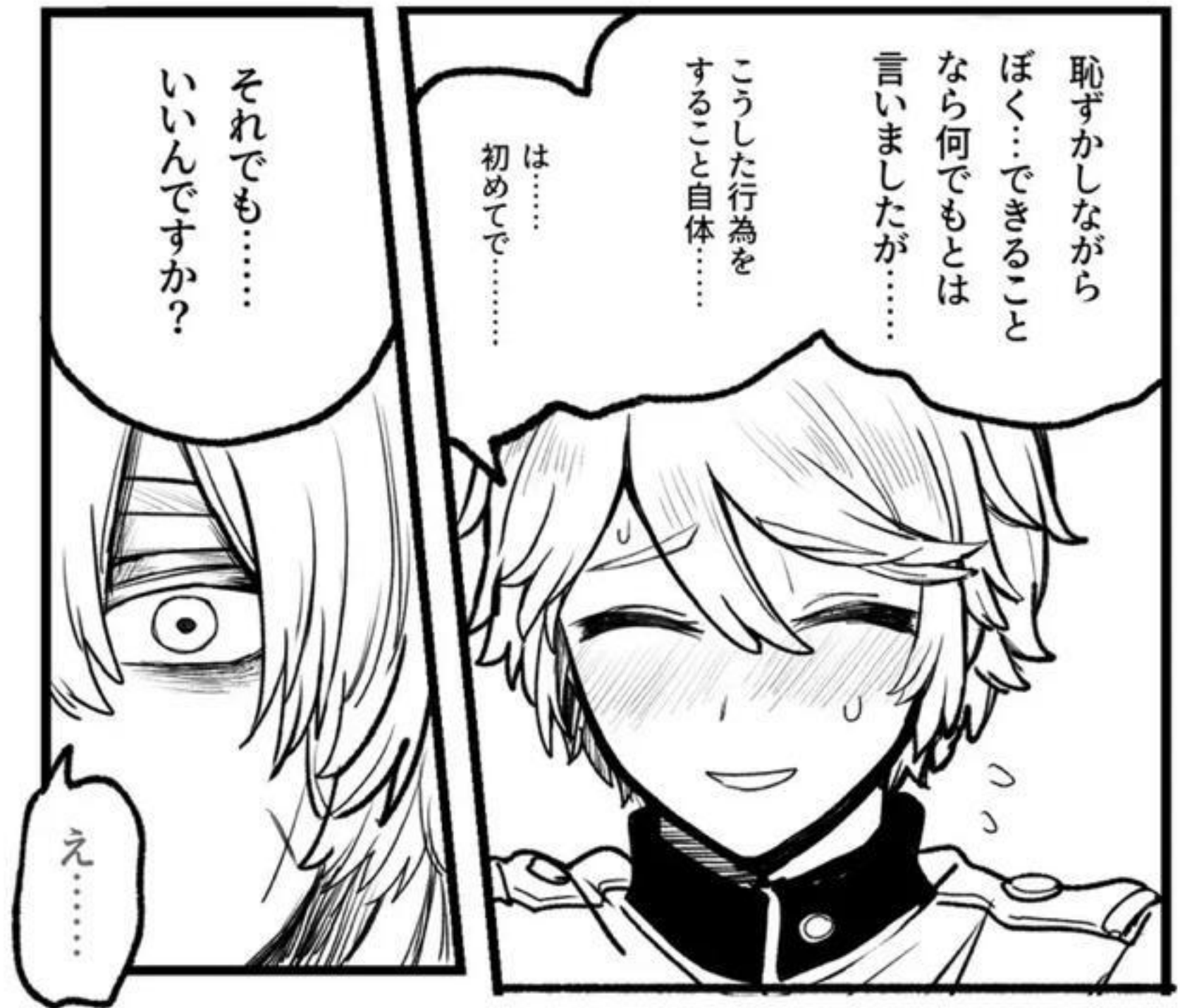
はぁ♡

もっ……
教えてください♡



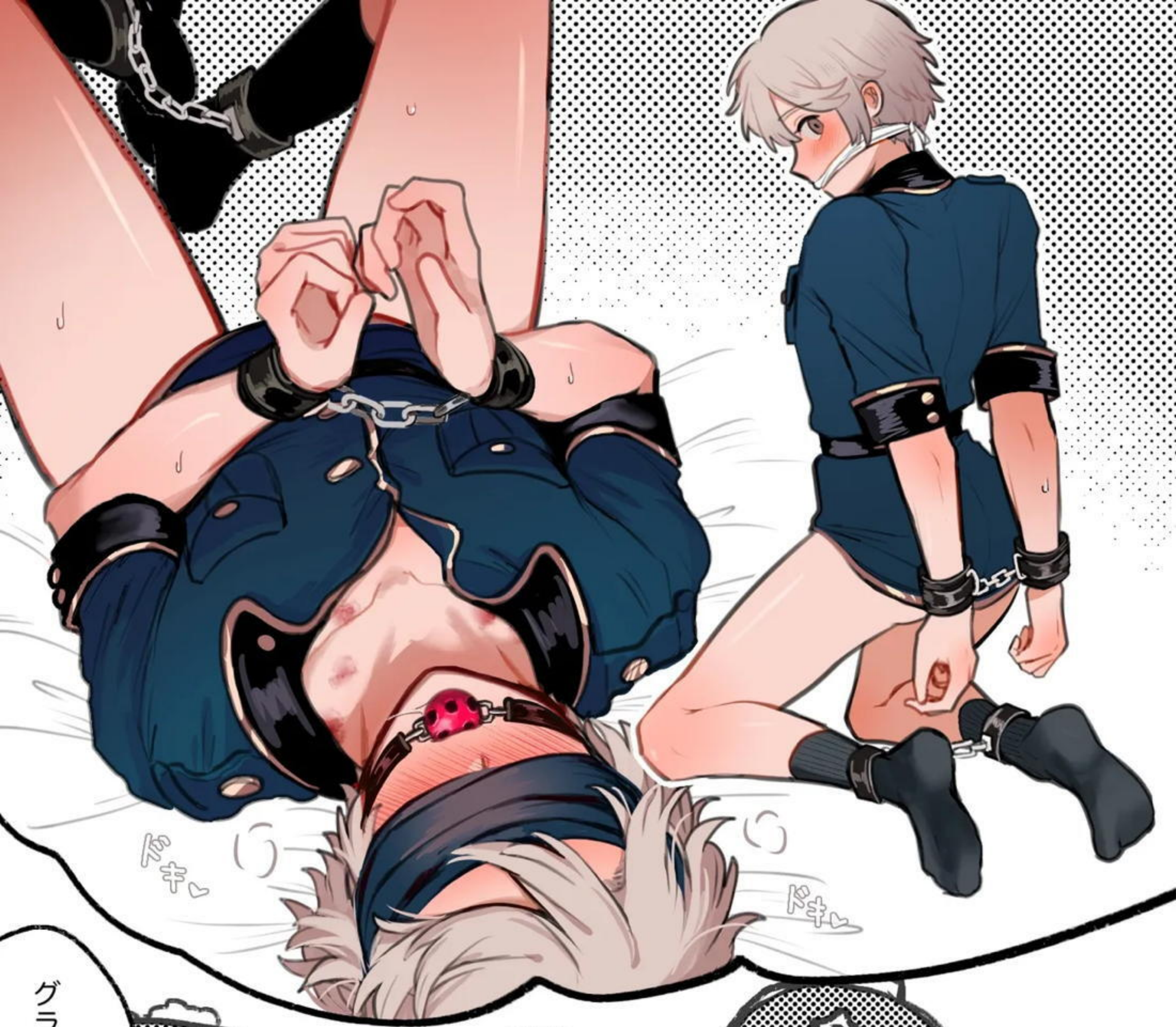
おまけ

↓のシーンの車掌さんが考えていたこと



☆ この間わずか0.1秒

@_void_void_0



次はこっちなのは
どうですか？



グランツさん…？